

■一般的な操作方法

(一般的な手順をご案内しております。お客様の会社、及び発注者とのやり取りに沿った形でご活用下さい) ※必ず、当初積算の工事を使用してください。既に請負額等に調整した工事では、その金額にさらに 請負率がかかってしまう計算となります。

- 1. 設計書作成 (通常の積算操作)
- 2. 合意シート作成 (合意単価アイコンからの操作)(手順書 P2~4)
- 3. 設計変更 (通常の積算の設計変更操作) (手順書 P5 3. ①②の操作)
- 4. 変更契約シート作成 (変更予定価格算出用)(合意単価アイコンからの操作) (手順書P5 3.3~P6 3.5までの操作)

ここで作成された「(包括) 第1回変更設計」シートの合意金額の欄は、設計変更を行った工事の、「第一回変更予定価格」の目安となります。変更工事の入札時の参考値として下さい。 (変更契約後の合意シートの作成は、次の手順となります。)

5. 変更合意シート作成 (合意単価アイコンからの操作(手順書P7 3.6~8)

第二回変更~の操作は、手順書P8 4.①~P10 4.⑩までの操作となります。 それ以降の変更は、繰り返しとなります。第二回変更~と同じ操作の繰り返しとなります。

※ご注意※

・Gaia9 では、変更契約シート作成時に、当初設計も変更設計と同じ経費条件で経費計算を自動で行っております。

変更時に、経費の条件が変わる場合の計算には対応しておりません。

- ・Gaia9 では、素単価に、間接費の対象外フラグを設定していただいている場合、変更時の間接工事費の変更額については、100%を控除する計算で算出しております。 控除対象の項目に請負率を考慮する必要がある場合には対応しておりません。
- ・包括合意の際に、変更合意書を作成する予定がある場合、設計の合意シート作成時、合意単価、 合意金額ともに打ち変えないようにしてください。 合意金額を打ち変えるとその金額が固定されてしまい、変更経費の計算時に金額が反映されなく なります。

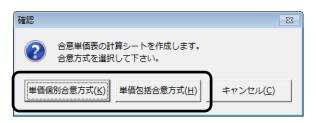


1. 合意単価の計算シート作成

① 設計側で、経費計算まで行った状態で、 本工事費内訳書画面にて「合意単価」を クリックします。



② 「単価個別合意方式」または「単価包括合意方式」を選択します。



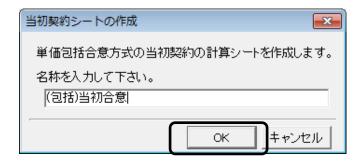
【単価個別合意方式】

工事数量総括表を基本とし、直接工事費、共通仮設費(積み上げ分)、共通仮設費(率分)、 現場管理費及び一般管理費の単価について個別に合意比率を設定します。

【単価包括合意方式】

工事数量総括表に記載の項目について、当初契約の予定価格(変更契約の場合は官積算額)に対する 請負金額の比率に基づき合意比率を設定します。

③ 「当初契約シートの作成」画面が表示されます。 名称を入力して、「OK」をクリックします。

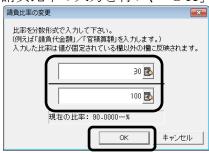




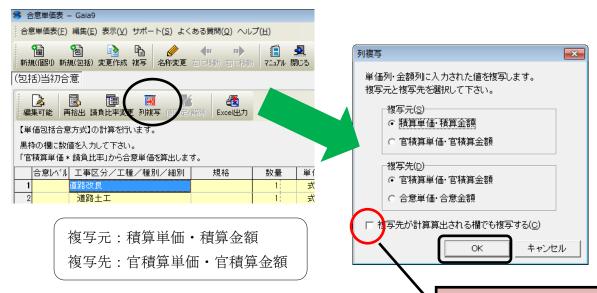
2. 当初契約の作成

【単価包括合意方式】

① 請負比率の入力を行い、「OK」をクリックします。



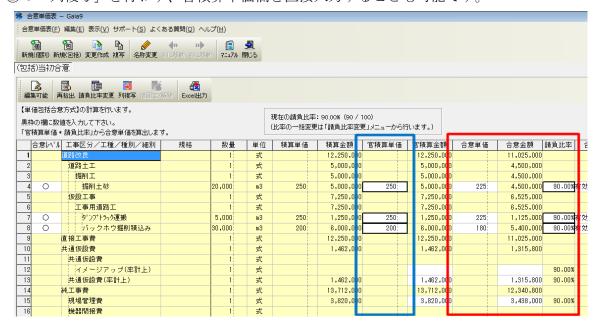
② 合意単価表画面で、「列複写」をクリックして、積算単価を官積算単価にコピーします。



合意単価は請負比率を元に計算された金額が表示されます。

チェックははずした状態で複写します。

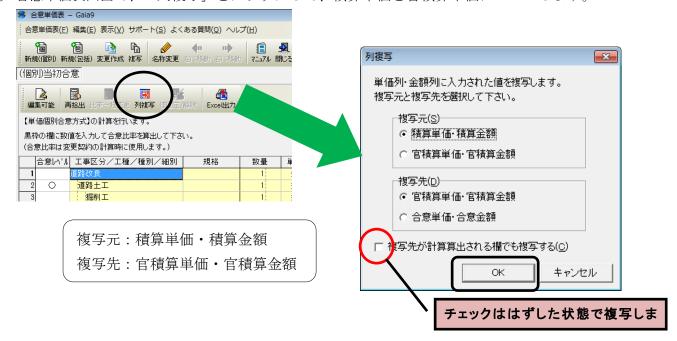
②の「列複写」を行わず、官積算単価欄を直接入力することも可能です。





【単価個別合意方式】

① 合意単価表画面で、「列複写」をクリックして、積算単価を官積算単価にコピーします。



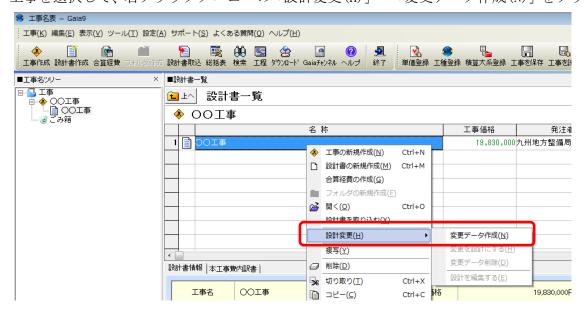
- ② 合意単価欄の黒枠の箇所をダブルクリックして、合意単価を入力します。 ①□の「列複写」を行わず、官積算単価欄を直接入力することも可能です。 また、列複写後、任意の工種のみ合意単価を打ち換えて頂いても結構です。
 - 今回の方法は、合意単価を指定することで、請負率を自動計算する方法となります。
- (「計算方法」の設定を変更すると、合意比率を入力することで合意単価を自動計算することも可能です。) 単価個別合意方式の場合は、合意単価を調整時、最終的な工事価格が請負額と一致するように調整 してください。



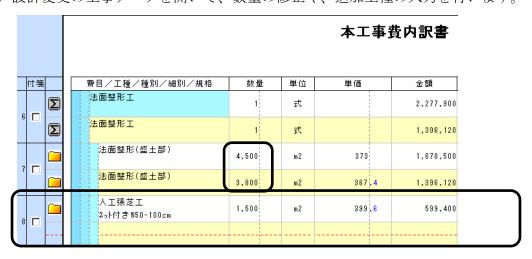


3. 設計変更(1回目)

① 合意単価表画面を終了し、設計書一覧画面に戻ります。 工事を選択して、右クリックメニューの「設計変更(H)」-「変更データ作成(N)」をクリックします。



- ※ 「変更データを作成する前に工事を複写しますか?」とメッセージが表示 されたら、「はい(Y)」をクリックしてコピーすることをお勧めします。
- ② 設計変更の工事データを開いて、数量の修正や、追加工種の入力を行います。

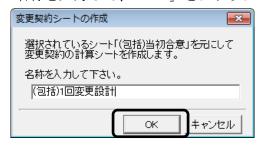


③ 変更データを入力後、**必ず経費計算を 行ってから**「合意単価」をクリックします。





④ 「変更契約シートの作成」画面が表示されます。 名称を入力して、「OK」をクリックします。

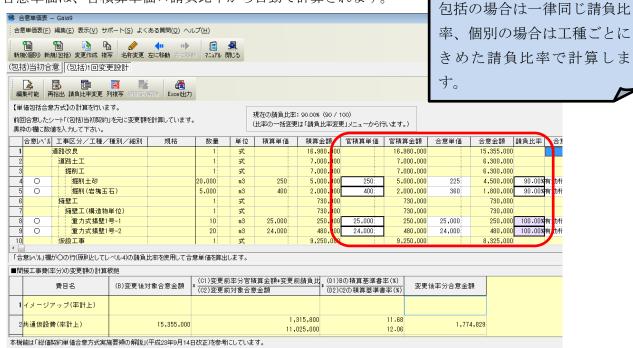


⑤ 変更契約のシートが追加されます。

合意単価表画面で、「列複写」をクリックして、積算単価を官積算単価にコピーします。



合意単価は、官積算単価×請負比率から自動で計算されます。



- -この操作で求められるものは、変更二次官積(設計変更の予定価格)です。
- ・当初契約から存在する行の設計変更は、官積算単価、合意単価、請負比率は「当初契約」時の 数値が保持されます。
- ・設計変更により、追加された行の請負比率は、自動で設定されます。
- 追加工種がレベル3以下の場合は、上位のレベル2の請負比率が適用となります。
- ・追加工種がレベル2 の場合は、請負比率は100%で計算されます。





2回変更のための準備作業を行います。

下記の手順で新規シートを作成して、第1回変更契約の合意単価の入力を行ってください。

⑥ 2回目変更用のシートを作成します。

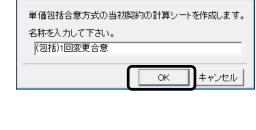
1回目変更シートを選択した状態で、「新規(個別)」または「新規(包括)」をクリックします。



- ⑦ シートの名称を入力して、「OK」をクリックします。
- ⑧ 第1回変更契約の情報を入力します。

【単価包括合意方式】

第1回変更の請負比率を入力し、「列複写」行います。



当初契約シートの作成



・変更契約の請負比率は変更請負価格÷変更一次官積(合意率を反映しない金額)です

【単価個別合意方式】

「列複写」を行った後、黒枠の合意単価欄をダブルクリックして、

第1回目変更契約の合意単価を入力します。(前回合意分も入力し直してください)

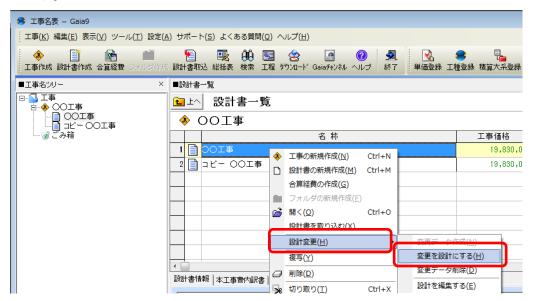




4. 設計変更(2回目)

注意:前回の合意単価を必ず入力し終えてから、変更設計書を作成して下さい。

① 合意単価表画面を終了して、設計書一覧画面に戻ります。 工事を選択して、右クリックメニューの「設計変更(H)」 - 「変更を設計にする(H)」をクリック します。



② 設計変更の工事データを開いて、数量の修正や、追加工種の入力、経費計算を行います。



③「合意単価」をクリックします。

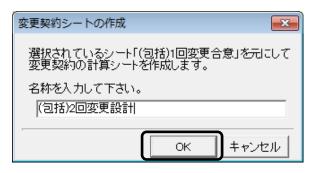


④ 1回目変更シートを選択した状態で、「**変更作成**」をクリックします。

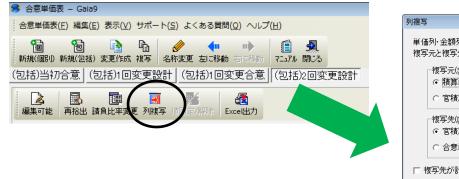


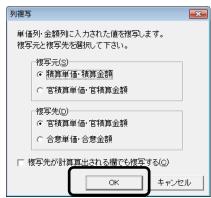


⑤ シートの名称を入力して、「OK」をクリックします。

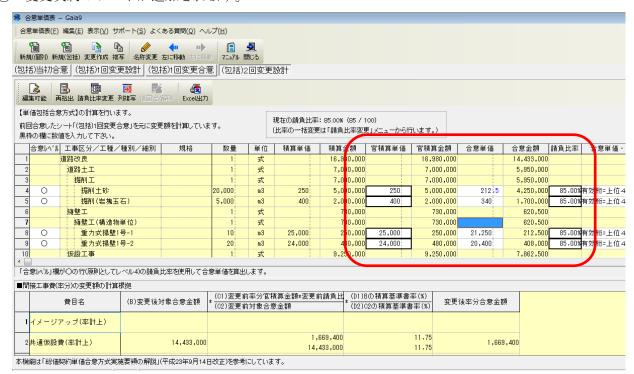


⑥ 合意単価表画面で、「列複写」をクリックして、積算単価を官積算単価にコピーします。





⑦ 変更契約のシートが追加されます。







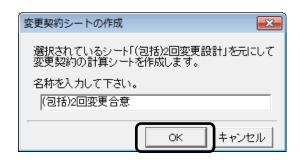
3回変更のための準備作業を行います。

必ず、新規シートを作成して、第2回変更契約の合意単価の入力を行ってください。

⑧ 3回目変更用のシートを作成します。2回目変更シートを選択した状態で、「新規(個別)」または「新規(包括)」をクリックします。



⑨ 計算シートの名称を入力して、 「OK」をクリックします。



⑩ 第2回変更契約の情報を入力します。 以降の手順は、P68以降と同じです。